

深く通じ合う間柄 の義母とご近所さ ん

昼下がりから夕方にかけて静かな時間
が今日も街の一区に流れる。

閑静でごく普通なこの住宅街の一角では

主婦仲間たちがとても仲が良い。

ここへ集まっていつもいろんな会話をしている。あまり壁を作らず何でも話せ

る間柄である。

・・・・・・・・・・深くで分かり合っている
のだ・・・・・・・・・・。

義母のリョウコと二人暮らしになって
からシュウタは5年が経つ。

家族は遠くの街へ出ている。

9月の初旬だが、

熱い夏の余韻が残っており、夕方も大きな義母の胸元は汗ばむ。

同様に胸元まで汗ばみながらリョウコ
のママ友であるサナエはエプロン姿。膝
まで少し届かないワンピース。

やけに・・・・・・・・エロい太ももが見え
る。

もう一人、ミサコはノースリーブで……。

互いの自宅はすぐそば。家の前で世間話

をしている。

ミサコの二の腕は夜な夜な旦那と営んでいる証とも言えるほどムッチムチだ。

「最近、うちの息子の友達があたしにワガママ言ってきて困ってるのよ」

リョウコは自宅の愚痴をこぼす。

ミサコは・・・・・・・・。

「最近の男の子って活発らしいからね・・・・・・・・」

少し想像が膨らむ。

.....ほんとうに嬉しいことよね。

実は.....

義母リョウコとご近所さん.....彼女ら

だけにとどまらない。

小さなマンションが立ち並ぶこの街の
区画の奥さんたちグループは

深い絆で分かり合っているのだ。

率直に言うならそれは

“裸の淫靡な繋がり”

そしてそれは・・・・・・夜に行われる快
楽の汗とスポーツによって日々深さを
増している。

(体験版は以上になります。ご読了あり
がとうございました)